

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十八年十一月十二日(金)
海軍大臣官房

○ 通 牒

契庶機密第一一三四號

昭和十八年十月二十九日

海軍省 經 理 局 長

關係各廳長殿

統制契約ニ關スル件通牒

首題ノ件左記ノ通り契約締結致候

(追而契約書ハ所要ノ向ニ別途配付ス)

記

統制契約締結一覽表

契約番號	契約品名	請負社名	締結月日	期 間
一八經契第〇〇四號	ブリキ板	日本製鐵株式會社	一八—九—二八	自一八—九—二八 至一九—三—三十一
		三 和 商 會		

海軍公報 (部内限) 號外

二五

0368

一八經契第一二四號	純重炭酸、純硝酸	旭硝子販賣株式會社	一八—八—一	至自 一九八—七—八 一九八—七—三
一八經契第一二六號	工業用硝酸	株式會社安宅産業株式會社東京支店	一八—七—一	至自 一九八—六—七 一九八—六—三〇
一八經契第一二八號	純硫酸、純硝酸	田邊化學工業株式會社 入江七平社	一八—七—一	至自 一九八—六—七 一九八—六—三〇
一八經契第一三四號	硝化カルシウム	合資會社小西宗七商店	一八—六—一	至自 一九八—五—六 一九八—五—三
一八經契第一〇七一號	ペイント類	日本ベイント株式會社 關西ベイント株式會社 大日本塗料株式會社 東亞化學製煉株式會社 日本油脂株式會社 神東塗料株式會社 日本化工塗料株式會社 帝國塗料株式會社 日本化學工業株式會社 株式會社鉛市商店 日本金屬株式會社神戶製煉所 久保孝産業日清ラッカー工場	一八—七—一	至自 一九八—六—七 一九八—六—三〇
一八經契第一〇四〇號	テックス	株式會社吉川商會 三井物産株式會社 雙葉紙類工業會 合資會社	一八—一〇—一	至自 一九八—一〇—三〇 一九八—一〇—三〇

0369

一八經契第一三六號	珪酸曹達	日本製鍊株式會社	一八—七—一	至自 一九八—六—三〇
一八經契第一三七號	次亞硫酸、曹達無水 亞硫酸曹達、メト ルハイドロキノン	川口化學工業株式會社	一八—八—一	至自 一九八—七—三
一八經契第一三八號	石炭酸	日本タール中間物配給株式會社	一八—八—一	至自 一九八—七—三
一八經契第一四二號	四塩化炭素	合資小西宗七商店	一八—九—一	至自 一九八—八—三
一八經契第一五一號	化學分折用純塩酸	保當商事株式會社	一八—五—一	至自 一九八—四—三〇
一八經契第一五三號	クエン酸鐵アンモン	合資奥野清商店	一八—四—一	至自 一九八—三—三
一八經契第二一四號	普通鋼鍛鋼	大和製鋼株式會社 川崎重工業株式會社 株式會社神戶製鋼所 住友金屬工業株式會社 株式會社日本製鋼所 株式會社山崎製鋼所 株式會社尼崎製鋼所 大谷重工業株式會社 株式會社内製鋼所 東京製鋼株式會社 三菱製鋼株式會社 日亞製鋼株式會社 理研工業株式會社	一八—四—一	至自 一九八—三—三

0370

一八經契第二二八號	赤鐵鑛	日本製鐵株式會社	一八—四—一	至自 九八—三—四 三—三—一
一八經契第二二四號	樺バイタ	株式會社播磨造船所	一八—四—一	至自 九八—三—四 三—三—一
一八經契第二二五號	タルビシ翼材類	日本特殊鋼株式會社	一八—四—一	至自 九八—三—四 三—三—一
一八經契第二二九號	人造黒鉛電極	東海電極製造株式會社 日本カーボン株式會社 昭和カーボン株式會社 東洋カーボン株式會社	一八—七—一	至自 九八—三—七 三—三—一
一八經契第二三七號	艦船用各種電球	東京芝浦電氣株式會社 エビス電球株式會社 東光電氣株式會社 帝國電氣株式會社 メトロ電氣工業株式會社 興亞照明工業株式會社	一八—四—一	至自 九八—三—四 三—三—一

0371

一八經契第二六六號	燒成ドロマイト	富士礦業株式會社	一八—八—一五	自一八—八—一五 至一九—三—三一
一八經契第五〇一號	石綿製品 (岩綿保溫紐一種 二號ヲ含ム)	和泉アスベスト株式會社 日本バルーカー工業株式會社 日本アスベスト株式會社 大東邦石綿工業株式會社 カナエ石綿工業株式會社 株式會社五稜石綿紡績所 朝日石綿工業株式會社 株式會社安藤石綿バックキング 株式會社榮屋石綿紡績所 三好石綿工業株式會社	一八—四—一	自一八—五—二七 至一九—三—三一
一八經契第五一一號	港用品タル錨	岩下製鋼株式會社 大阪鑄物株式會社 大阪製鋼株式會社 大阪製鐵造機株式會社 株式會社金子鑄鋼所 横山工業株式會社 株式會社武藤電氣製鋼所 壽重工業株式會社 國光製鋼業株式會社 新家工業株式會社	一八—四—一	自一八—四—三一 至一九—三—三一

0372

一八經契第五一八號	(商)石綿製品	和泉アスベスト株式会社 日本バルーカー工業株式会社 日本アスベスト株式会社 大坂支店 東邦石綿工業株式会社 カナエ石綿工業株式会社 株式會社五稜石綿紡績所 朝日石綿工業株式會社 大坂營業所 株式會社安藤石綿バックینگ製造所 株式會社榮屋石綿紡績所 三好石綿工業株式會社	一八—四—一	至自 一八—四—一 一九—三—三
一八技會統第七六六號	受聽器及附屬品	日本無線株式會社 住友通信工業株式會社 沖電氣株式會社 安立電氣株式會社 日本電氣株式會社 大倉産業株式會社	一八—四—一	至自 一八—四—一 一九—三—三
一八技會統第七六六號ノニ	紐線	沖電氣株式會社	一八—四—一	至自 一八—四—一 一九—三—三

追加 十月一日附公報 (部内限) 號外契庶機密第九一六號ノ通牒一八經契第二五六號人造研削砥石類ノ請負
社名欄へ「秀工社」ヲ追加ス

0373

(限 内 部)

海軍公報

(部内限)第四千五百四十號

昭和十八年十一月十三日(土)

海軍大臣官房

○令達

官房設機密第一四八三號ノ三

昭和十八年官房設機密第一四八三號中左ノ通改正ス

昭和十八年十一月十三日

海軍大臣

表ヲ左ノ如ク改ム

第一人員

被 補 給 部		隊、廳		内地補充擔任應		記 事	
特 設 部	隊	特 設 部	廳	一 期限附採用工員、海軍施設本部補給部 二 其ノ他ノ雇員傭人及工員、横須賀海軍施設部		上記以外ノ特設海軍施設部及特設設營隊ニ對シテハ所管鎮守府所屬ノ施設部之ヲ行フ	
特 設 部	隊	特 設 部	廳				
海軍施設本部補給部ニテ編成シタル設營隊又ハ設營班		第四海軍施設部 第八海軍施設部					

第二資材

特 設 部	隊	特 設 部	廳	内地補充擔任應		記 事	
第八艦隊及第十一航空艦隊所屬特設設營隊		第八海軍施設部		海軍施設本部補給部		一 特設設營隊初度準備ハ、所管鎮守府所屬ノ施設部	

海軍公報(部内限)第四千五百四十號 昭和十八年十一月十三日

一二二七

0374

第三 工事費整理

第一南遣艦隊所屬特設營隊	第四海軍施設部	海軍施設本部補給部	之ヲ行フ 二 特設設營隊ニ對スル補給ハ上記當該欄ニ在ル特設施設部之ニ任ズルヲ例トシ必要ニ應ジテ當該内地補給擔任應ヨリ直接之ヲ行フ
第二南遣艦隊所屬特設營隊及臨時海軍設營隊	第一百一海軍施設部	佐世保海軍施設部	
第三南遣艦隊所屬特設營隊	第一百二海軍施設部	吳海軍施設部	
	第一百三海軍施設部	佐世保海軍施設部	
海南海軍施設部	第一海軍施設部	佐世保海軍施設部	
特設	第四海軍施設部	海軍施設本部補給部	記
第八海軍施設部			事

(參照) 官房設機第一四八三ハ特設設營隊及特設施設部ニ要スル人員及資材並ニ特設施設部ノ工事費整理ニ關スル擔任區分ノ件ナリ(昭和十八年六月一日海軍公報(部内限)號外)

官房需第二〇九號ノ二

昭和十八年官房需第二〇九號中左ノ通改正ス

昭和十八年十一月十三日

別表第一中主食品ノ項記事ノ欄ニ左ノ如ク加フ
海軍大臣

(3) 新兵増加食、生徒増加食ノ米麥ヲパンニ換給スル場合ハ一食ニ付左ノ量額以內之ヲ給スルコトヲ得

0375

(新兵増加食) (生徒増加食)

六〇瓦

八〇瓦

生パン
又パン
乾パン

五五瓦

七〇瓦

別表第二、第三及第四ノ換給品種ノ欄中「葛粉」ヲ
「粉類」ニ改ム

(参照) 昭和十八年官房第二〇九號(昭和一八、九、二八海軍公
報(部内限)號外)

○通牒

軍務一機密第八九〇號

昭和十八年十一月十三日

海軍省軍務局長

關係各廳長殿

一三式信管取扱ニ關スル件通牒

首題ノ件昭和十八年五月二十八日軍務一機密第四四〇
號ヲ以テ一三式信管装着彈丸ニ限リ入渠時等之ヲ一時
陸揚シ軍需部ニ預入ルル場合ハ信管ヲ取外サザルコト
ヲ得ルコトニ定メラレタル旨通牒致シ置キタル處自今
現地ニ限リ一三式信管装着彈丸ハ入渠時以外ト雖モ之
ヲ現地軍需部ニ還納或ハ預入ルル場合ハ信管ヲ取外サ

ザルコトヲ得ルコトニ定メラレ候條了知相成度
追テ此ノ場合ハ信管格納筐及信管格納筒ヲモ之ヲ添
付シ還納或ハ預入レノコトニ取計相成度

海人機密第一號ノ五三〇

昭和十八年十一月十二日

海軍省人事局長
海軍省教育局長

各鎮守府、艦隊、警備府參謀長
海軍練習聯合航空總隊參謀長
關係各所 轄長 殿

昭和十八年六月一日以降充員召集ノ第一
補充兵、第二補充兵及第二國民兵ニ對ス
ル人事取扱等ニ關スル件申改正ノ件申進
本年海人機密第一號ノ一九二申進首題ノ件申左記ノ通
改正セラレ候

記

第三號(表中「右以外ノ所轄ニ配員ノモノ」ノ項教育
要領ノ欄末尾ニ左ノ如ク加フ
但シ基礎教育教程標準(配置教育以外)ニ依ル教育
ハ努メテ之ヲ最初ノ二月ニ於テ實施スルモノトシ爾
後ハ主トシテ配置教育ヲ行フモノトス

海軍公報(部内限)第四百五百四十號

昭和十八年十一月十三日

一一二九

0376

（會計法規類集一巻一二三頁参照）

○ 辭 令

法制局參事官	井子 成三
金畫院調査官	江藤 定男
同	中村 武嘉
内閣技師	中村 長一郎
技術院參技官	下山 定則
商工省機械局長	美濃部 洋次
遞信技師	巽 良知
鐵道監	佐藤 榮作
厚生省勤勞局長	中村 敬之進
企畫院調査官	黒川 俊雄
技術院參技官	高坂 憲三
商工技師	鈴木 平
燃料局技師	関 戸 勳
遞信技師	吉岡 俊男
鐵道官	信澤 貞治
同	古川 信一
同	市村 益夫

（各通）

第四號中「實施經過ノ概要並ニ所見ヲ」ヲ「特ニ教育實施ニ關シ所見アル向ハ之ヲ」ニ改ム
第五號末尾ニ左ノ如ク加フ
但シ内地各部ニ於テハ基礎教育教程標準（配置教育以外）ニ依ル教育ヲ終了シタル者ハ配員上又ハ收容施設等ノ關係上已ムヲ得ザル場合ハ機宜陸上各部ニ轉勤セシムルコトヲ得
前項但書ニ依リ補充兵及國民兵轉入シタル所轄ニ於テハ基礎教育ニ關スル所見ヲ前號ニ準ジ提出又ハ送付スルモノトス

經豫機密第五號ノ二四

昭和十八年十一月十二日

海軍省 經理局長

關係各支出官殿

勞働手當配付豫算ノ件申改正ノ件通牒

昭和十二年經豫第五號ノ三四一通牒首題ノ件別表中左記ノ通十一月一日附改正セラレ候

記

在役驅逐艦ノ欄中「同潜水艦」ノ次ニ「同海防艦」ヲ
「同驅潜艇」ノ次ニ「同哨戒艇」ヲ追加ス

0377

厚生事務官、富樫 總一
 厚生理事官 鈴木 僊吉
 内閣屬 水島 至文
 同 小島 隆三
 同 中川 巖
 情報局屬 名倉 誠一
 松田 範房
 淺原 源七
 溝口 新平
 八田 武治
 高橋 關晴
 安藤 照雄
 上田 武人
 海軍省事務囑託(軍務局配屬)ヲ解ク(計九海軍省)
 海軍屬 細田 勝治
 第二課兼第一課勤務ヲ命ス(計四海軍省軍務局)
 海軍主計中尉 村山 健二
 第二十四設營隊第二隊ニ要スル給與及其ノ他ノ經費
 支拂ノ爲艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス(計支出
 官海軍省經理局長)

海軍主計兵曹長 田島 勇次
 第二十二根據地隊「ボンチアナク」派遣隊ニ要スル
 給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費臨時分任出納
 官吏ヲ命シ置キタル處之ヲ免ス(計二同)
 第一課勤務ヲ命ス(計四海軍省軍需局)
 海軍屬 栗山 市作

○ 雜 款

○司令驅逐艦變更
 第十七驅逐隊司令ハ十月十六日司令驅逐艦ヲ浦風ニ變
 更セリ

○ 試驗問題發送

普通科砲術特技章附與第二回詮衡試驗問題掌砲兵
 陸戰班
 陸上對空班

試驗期日 昭和十八年十二月十三日(月)

右十月三十日左記ノ通發送濟、未着及別ニ必要ノ向ハ
 最寄海軍人事部、警備府又ハ館山海軍砲術學校へ至急
 通知相成度

記

一 聯合試驗用ノモノハ各海軍人事部、各警備府宛送
 付

海軍公報(部内限)第四千五百四十號

昭和十八年十一月十三日

二二二

0378

二 單獨試驗施行豫定ノ所轄ニハ直送
三 聯合試驗參加豫定ノ艦船ニシテ行動豫定變更ノ爲
聯合試驗參加不能ノ向ニ對スル分トシテ前記宛單獨
試驗用問題若干送付済

（館山海軍砲術學校）

○書類發送ニ關スル件

部内ヨリ發送セラルル文書中驅逐艦夕風ト驅逐艦夕風
トヲ誤ルモノ多ク事務處理上支障尠カラザルニ付自今
風ト風ヲ明瞭ニ記入ノコトニ留意相成度

（驅逐艦夕風）

○軍需品輸送ニ關スル件

當隊宛發送セラルル軍需品ニシテ姫路驛留ニ取扱ハル
ル向有之候處當隊ハ同所ヨリ相當距離ニ在リ之ガ輸
送ノタメ不便尠カラザルノミナラズ燃料消費經費節約
ノ見地ヨリモ不經濟ニ付特殊ノモノヲ除キ自今必ス左
ノ通取扱相成度

（姫路海軍航空隊）

○給與ニ關スル件

第八艦隊司令部ノ給與掌理者ハ本年二月十一日以降鳥
海ヨリ第八艦隊部ニ變更セルニ付轉勤者ニ對スル給與
通牒及給與關係照會事項ハ第八艦隊部宛直送ヲ得度

（第八艦隊部）

○事務開始

一 海軍兵學校岩國分校ハ十一月一日ヨリ事務ヲ開始
セリ

二 追テ本校ニ對スル書類ハ岩國分校宛寫一通送付相
成度

三 海軍兵學校教官、監事、附ニ發令セラレタル者ノ
江田島本校及岩國分校勤務別ハ本校ニ於テ決定スベ
キニ付左ニ依リ赴任セシメラレ度

（イ）身廻品ノミ携帶單身（家族移轉料未給ノ儘）赴
任ノコト

（ロ）荷物ハ本人江田島ニ着任後又ハ豫メ電報等ニテ
副官ニ連絡ノ上發送ノコト

（ハ）岩國分校ニハ目下官舎ナク地方ニ於テモ借家拂
底ノ狀況ニ付家族ノ移轉ハ住宅決定後行フコト

（海軍兵學校）

第三〇一海軍航空隊ハ十一月五日横須賀海軍航空隊内
ニ於テ事務ヲ開始セリ

○訂正

十月二十日附公報（部内限）辭令欄五五三頁上段十七
行目「野中七郎」ノ發令月日「十月二十日」ヲ「二月
十七日」ニ訂正

0379

(限 部)

海軍公報

(部内限) 第四千五百四十一號

昭和十八年十一月十五日(月)
海軍大臣官房

○令 達

官房軍機密第一三三二號

昭和十六年官房機密第三六〇號中左ノ通改正ス

昭和十八年十一月十三日

海軍大臣

第五條第三號中「海軍部内ノ」ノ下ニ「高等文官、」ヲ加フ

(參照) 昭和十六年官房機密第三六〇號ハ日獨伊混合專門委員會ニ
屬スル海軍職員ノ服務等ニ關スル件ナリ(二月十八日本欄)

○通 牒

官房軍第二二八八號

昭和十八年十一月十三日

海軍省副官

各廳長、殿

海軍文官同待遇者雇員傭人及海軍武官徴

海軍公報(部内限) 第四千五百四十一號

昭和十八年十一月十五日

一二二三

章附着ニ關スル件中改正ノ件通知

昭和十四年官房第六四〇三號中進音題ノ件中大阪警
備府管下勤務者ノ項ノ次ニ左ノ如ク加ヘラレ候

コ 海軍練習聯合航空總隊部下勤務者

(諸例則卷四ノ一三六ノ二頁參照)

經監經機密第十號

昭和十八年十一月十三日

海軍省經理局長
海軍省兵備局長

關係各廳長殿

徵用工員入應時寢具携行ニ關スル件通牒

近時纖維製品ノ逼迫ニ伴ヒ徵用工員ニ對スル寢具ハ共
ノ入手極メテ困難ヲ來シツツアルニ付徵用證衛ノ際極
力寢具一組ハ携行スル様態適シ之ニ對シ左記ニ依リ處
理シ得ルコトト了知相成度

記

一 寢具ヲ携行セシ者ニ對シテハ官ニ於テ之ヲ買上ノ

0380

- 一 上當該寢具ハ徵用期間中之ヲ本人ニ貸與スルコト
- 二 徵用解除ノ際ハ本人ニ之ヲ拂下グルモノトス
- 三 第一號ニ依ル買上價格ハ一組ニ付四十五圓トシ右代金ハ工員ヲシテ強制貯蓄ヲ行ハシムルモノトス
- 四 第二號ニ依ル拂下價格ハ買上價格ヨリ徵用期間一年ニ付十圓（一年未滿ハ一月ニ付九十錢）ヲ控除セラル金額トス
- 五 寢具補修費ヲ官費支辨トス

經監一機密第八號ノ二八

昭和十八年十一月十三日

海軍省經理局長

各海軍經理部長
各特設海軍經理部長
各支官殿
各出納官吏

計算證明等ノ取扱ニ關スル件通牒

昭和十七年經監一機密第一一八號通牒（機密會計法規類集六四ノ四頁參照）首題ノ件中計算證明等取扱要領第二號ノ次ニ左記ノ如ク追加致候

記

一三 工事、製造又ハ物件ノ買入其ノ他ノ請負契約ニ

付テハ會計規則等戰時特例第十三條ノ規定ニ依ルモ猶會計規則第九十二條又ハ第九十四條ニ規定スル調書ノ作成ヲ要スル場合ハ之ガ作成ヲ省略シ代金請求書（又ハ領收書）ノ餘白ニ所事項ヲ記載シ檢査官ノ捺印ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得ルコト

一四 昭和十六年經監一第七一號別冊支出官計算證明證書調理様式凡例第十五ニ依ル第八號野紙ノ提出ハ之ヲ省略シ代金請求書（又ハ領收書）ノ餘白ニ所事項ヲ記載シ之ニ代フルコトヲ得ルコト

軍需衣第一六四號

昭和十八年十一月十三日

海軍省軍需局長
海軍省經理局長

關係各廳長殿

被服物品ノ繰替供給ヲ爲シタル場合ノ取扱ニ關スル件申進

首題ニ關シテハ昭和十八年官房需第一三六號（六月十八日海軍公報（部内限））第二號ニ依リ昭和六年官房第三三五六號ノ規定ヲ準用ノコトニ定メラレ居候處昭和十八年官房經第一一七五號（十月二十九日海軍公報（部内限））ノ發令ニ伴ヒ大東亞戰爭中ハ自然同號ヲ準

0381

用スル義ト承知相成度

艦本機密兵電第一三〇二號

昭和十八年十一月六日

海軍艦政本部長

横須賀、吳、
佐世保、舞鶴、
大湊、鎮海、高雄、
各海軍軍需部長殿

探照燈用（信號探照燈ヲ含ム）補用炭棒
保持器供給並ニ還納ニ關スル件通牒（砲
術長主管）（航海長主管）

首題兵器ハ自今供給セザルコトトシ現供用中ノモノハ
左記ニ依リ還納受スベシ

追テ在庫探照燈ニ對シテハ分離組替ノ上別籍整理ノ
コト

記

一 現供用中ノ左記兵器ヲ速ニ最寄ノ海軍軍需部ニ還
納スルモノトス（但シ戰地進出中ノ陸上部隊ヲ除ク）

補用炭棒保持器格納筐共（九六式探照燈用 各種
九二式同 同）
須式同

二 但シ長月日作戦上内地ニ離ルルノ場合左ノ標準ニ
依リ臨時供給ス

探照燈裝備基數

臨時供給數

同一探照燈四基以上裝
備艦船

四基毎、二個

同一探照燈一基以上裝
備艦船

隊ヲ編成スル場合各隊毎
ニ一個

同

其他ハ供給セザルヲ立前
トス

但シ右ノ外必要ト認ムル場合ハ臨時供給スルコトヲ
得

三 各軍需部ハ還納受後速ニ還納先並ニ品名數量報告
ノコト

○ 辭 令

日 比 新

囑託（軍屬船員）ヲ命シ部内限委任官待遇トス（ハロ
海軍省）

（各通）

囑託（軍屬船員）ヲ命シ部内限委任官待遇トス（ハロ
海軍省）

村上 勝市

坂田 周造

安西 重太郎

新村 喜之助

藤井 謹之助

海軍公報（部内限）第四千五百四十一號

昭和十八年十一月十五日

一二二五

0382

(同)

下青木 佐二

山口 卓視

中野 弘

宮本 政之助

小寺 清郷

伊地知 一男

伊藤 不可止

藤井 直文

岩田 勝五郎

武田 敬三

神谷 豊文

金尾 静衛

山田 進

小室 富雄

木野下 武

囑託(軍属船員)ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(三九〇同)

囑託(軍属船員)ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(三九〇同)

瀬戸口 泰吉

第十一特別工作部ニ於ケル業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額貳千六百拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(三九〇同)

渡辺 精一

第十一特別工作部ニ於ケル業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額貳千四百貳拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(三九〇同)

第十一特別工作部ニ於ケル業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額貳千七百七拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(三九〇同)

横須賀鎮守府ニ於ケル業務囑託ヲ解ク(三九〇同)

三重海軍航空隊教授囑託

自今報酬年額千四百七拾圓ヲ給ス(三九〇同)

軍令部ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

第百二海軍病院ジャカルタ分院ニ於ケル醫療業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

軍令部ニ於ケル調査事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

安藤 利男

城 義雄

工藤 敏郎

有澤 丈夫

龜山 忠直

南洋廳航空官

横須賀鎮守府ニ於ケル業務囑託ヲ解ク(三九〇同)

三重海軍航空隊教授囑託

自今報酬年額千四百七拾圓ヲ給ス(三九〇同)

軍令部ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

第百二海軍病院ジャカルタ分院ニ於ケル醫療業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

軍令部ニ於ケル調査事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

安藤 利男

城 義雄

工藤 敏郎

有澤 丈夫

龜山 忠直

0383

トス(以上一切同)

(各通)

佐世保鎮守府附ヲ免シ第一南遣艦隊司令部附ヲ命ス

通信技師	安田外次郎
遞信局技師	加藤幸松
通信技手	吉村清
遞信手	樋口義男
線路工員	五斗小太郎
同	水野銀三
同	近藤安男
同	松田勉
同	渡邊一郎
同	駒村好成
機械工員	神山藤一
同	森照次
同	佐藤正則
遞信局技師	水内洗四郎
同	白木寛二
通信技手	原田精二
同	大山一之

(各通)

同	氏本國男
線路工員	田中辰治
同	高崎秀治
同	黒田仁一
同	金原見三郎
同	五十嵐龜一
同	中山善作
同	武藤正吉
同	坂本万龜夫
同	保住春信
同	伊東信一郎
同	今仁末隆
同	高久清
同	齋藤力次
同	新舍定雄
同	土屋玉一
同	田畑秀夫
同	田中實
同	田中龍明
同	中務龜夫
同	前原勢二

海軍公報(部内限) 第四千五百四十一號

昭和十八年十一月十五日

一二二七

0384

吳鎮守府附ヲ免シ第二南遣艦隊司令部附ヲ命ス

線路工員	大森 三男
同	北山 幸一
同	眞鍋 義數
同	今村 順藏
同	佐々木 四郎
同	池谷 千太郎
機械工員	酒井 貞一郎
同	藤井 眞吉
同	八木 正造
同	長谷川 喜好
同	佐野 順作
同	鈴木 保次
同	田中 勳三
同	西尾 武人
同	菊川 良信
同	香川 良信
同	中野 武雄
同	河内 毅
通信技師	林 泰三
通信技手	佐藤 増雄

吳鎮守府附ヲ免シ第三南遣艦隊司令部附ヲ命ス

(各通)

遞信手	庄子 多門
線路工員	志田 豊治
同	高山 猛
同	熊谷 己三郎
同	加藤 源吉
同	相澤 勘次郎
同	藤原 達雄
同	氏家 四郎
同	佐藤 清次郎
同	今野 定吉
遞信局技師	松 限 薫
通信技手	川 越 通
同	大 平 安
遞信手	新福 伊三吉
同	村田 儀三郎
線路工員	湯地 春美
同	大森 一二
同	宮本 辰男
同	大司 次男
同	野村 松一

0385

(各通)

同	古賀 國次
同	西村 行男
同	陣内 清
同	上田 卯來男
同	武 侃
同	木原 操
機械工員	長友 榮
同	大宅 忠義
同	田川 富雄
同	新川 正博
同	秋山 安二
同	高橋 清
同	長嶺 勝美
佐世保鎮守府附ヲ免シ海南警備府附ヲ命ス	青木 繁
海南警備府附ヲ免ス	林 信夫
海南海軍特務部ニ於ケル業務ヲ囑託ス	
但シ報酬年額千四百七拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス	

第六十一海軍航空廠工員養成所教務囑託

自今報酬年額千七百圓ヲ贈與ス(以上世同)

同	大西 茂昭
海軍大佐	鈴木 俊郎
海軍中佐	水越 正作
同	原田 榮治
同	金崎 義忠
海軍少佐	西田 恒晃
海軍主計少佐	齋藤 周助
海軍技術大佐	青木 小三郎
同	稻川 精一
同	廣澤 眞吾
同	岡本 方行
海軍技術中佐	高多 九三郎
同	松本 喜太郎
同	中山 三郎
同	新美 政義
同	俵 信次
同	耳塚 勝太郎
同	寺田 重義

海軍公報(部内限) 第四千五百四十一號 昭和十八年十一月十五日

一二二九

0386

海軍技術大尉

同
森
精

同
山崎達郎

同
西脇慈圓

同
中田 富次郎

同
車
村
正
勝

同
富士田
瑞穂

同
平
非
滋
二

同
山縣
隆治

同 伊東祐正

同
德光博文

同
男爵島津備愛

同
村
中
櫻

同
小野
時男

海軍主計中尉 神山利一

海軍技師 杉本 正雄

同 塚本清之助

同柴田圭

同
重野
隼太

同
箕作
秋吉

同 眞崎 公二

1. $\frac{1}{2}$
 2. $\frac{1}{4}$
 3. $\frac{1}{8}$
 4. $\frac{1}{16}$
 5. $\frac{1}{32}$
 6. $\frac{1}{64}$
 7. $\frac{1}{128}$
 8. $\frac{1}{256}$
 9. $\frac{1}{512}$
 10. $\frac{1}{1024}$
 11. $\frac{1}{2048}$
 12. $\frac{1}{4096}$
 13. $\frac{1}{8192}$
 14. $\frac{1}{16384}$
 15. $\frac{1}{32768}$
 16. $\frac{1}{65536}$
 17. $\frac{1}{131072}$
 18. $\frac{1}{262144}$
 19. $\frac{1}{524288}$
 20. $\frac{1}{1048576}$
 21. $\frac{1}{2097152}$
 22. $\frac{1}{4194304}$
 23. $\frac{1}{8388608}$
 24. $\frac{1}{16777216}$
 25. $\frac{1}{33554432}$
 26. $\frac{1}{67108864}$
 27. $\frac{1}{134217728}$
 28. $\frac{1}{268435456}$
 29. $\frac{1}{536870912}$
 30. $\frac{1}{1073741824}$
 31. $\frac{1}{2147483648}$
 32. $\frac{1}{4294967296}$
 33. $\frac{1}{8589934592}$
 34. $\frac{1}{17179869184}$
 35. $\frac{1}{34359738368}$
 36. $\frac{1}{68719476736}$
 37. $\frac{1}{137438953472}$
 38. $\frac{1}{274877906944}$
 39. $\frac{1}{549755813888}$
 40. $\frac{1}{1099511627776}$
 41. $\frac{1}{2199023255552}$
 42. $\frac{1}{4398046511104}$
 43. $\frac{1}{8796093022208}$
 44. $\frac{1}{17592186044416}$
 45. $\frac{1}{35184372088832}$
 46. $\frac{1}{70368744177664}$
 47. $\frac{1}{140737488355328}$
 48. $\frac{1}{281474976710656}$
 49. $\frac{1}{562949953421312}$
 50. $\frac{1}{1125899906842624}$
 51. $\frac{1}{2251799813685248}$
 52. $\frac{1}{4503599627370496}$
 53. $\frac{1}{9007199254740992}$
 54. $\frac{1}{18014398509481984}$
 55. $\frac{1}{36028797018963968}$
 56. $\frac{1}{72057594037927936}$
 57. $\frac{1}{144115188075855872}$
 58. $\frac{1}{288230376151711744}$
 59. $\frac{1}{576460752303423488}$
 60. $\frac{1}{1152921504606846976}$
 61. $\frac{1}{2305843009213693952}$
 62. $\frac{1}{4611686018427387904}$
 63. $\frac{1}{9223372036854775808}$
 64. $\frac{1}{18446744073709551616}$
 65. $\frac{1}{36893488147419103232}$
 66. $\frac{1}{73786976294838206464}$
 67. $\frac{1}{147573952589676412928}$
 68. $\frac{1}{295147905179352825856}$
 69. $\frac{1}{590295810358705651712}$
 70. $\frac{1}{1180591620717411303424}$
 71. $\frac{1}{2361183241434822606848}$
 72. $\frac{1}{4722366482869645213696}$
 73. $\frac{1}{9444732965739290427392}$
 74. $\frac{1}{18889465931478580854784}$
 75. $\frac{1}{37778931862957161709568}$
 76. $\frac{1}{75557863725914323419136}$
 77. $\frac{1}{151115727451828646838272}$
 78. $\frac{1}{302231454903657293676544}$
 79. $\frac{1}{604462909807314587353088}$
 80. $\frac{1}{1208925819614629174706176}$
 81. $\frac{1}{2417851639229258349412352}$
 82. $\frac{1}{4835703278458516698824704}$
 83. $\frac{1}{9671406556917033397649408}$
 84. $\frac{1}{19342813113834066795298816}$
 85. $\frac{1}{38685626227668133590597632}$
 86. $\frac{1}{77371252455336267181195264}$
 87. $\frac{1}{154742504910672534362390528}$
 88. $\frac{1}{309485009821345068724781056}$
 89. $\frac{1}{618970019642690137449562112}$
 90. $\frac{1}{1237940039285380274899124224}$
 91. $\frac{1}{2475880078570760549798248448}$
 92. $\frac{1}{4951760157141521099596496896}$
 93. $\frac{1}{9903520314283042199192993792}$
 94. $\frac{1}{19807040628566084398385987584}$
 95. $\frac{1}{39614081257132168796771975168}$
 96. $\frac{1}{79228162514264337593543950336}$
 97. $\frac{1}{158456325028528675187087900672}$
 98. $\frac{1}{316912650057057350374175801344}$
 99. $\frac{1}{633825300114114700748351602688}$
 100. $\frac{1}{1267650600228229401496703205376}$
 101. $\frac{1}{2535301200456458802993406410752}$
 102. $\frac{1}{5070602400912917605986812821504}$
 103. $\frac{1}{10141204801825835211973625643008}$
 104. $\frac{1}{20282409603651670423947251286016}$
 105. $\frac{1}{40564819207303340847894502572032}$
 106. $\frac{1}{81129638414606681695789005144064}$
 107. $\frac{1}{162259276829213363391578010288128}$
 108. $\frac{1}{324518553658426726783156020576256}$
 109. $\frac{1}{649037107316853453566312041152512}$
 110. $\frac{1}{1298074214633706907132624082305024}$
 111. $\frac{1}{2596148429267413814265248164610048}$
 112. $\frac{1}{5192296858534827628530496329220096}$
 113. $\frac{1}{10384593717069655257060992658440192}$
 114. $\frac{1}{20769187434139310514121985316880384}$
 11

(各通)

昭和十八年十一月施行海軍技術學生採用試験臨時委員ヲ命ス(海軍省)

同 石田 制一

第一南遣艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス

高野 文雄

但シ報酬年額千八百貳拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

山 鋪 義雄

第二海軍燃料廠ニ於ケル海軍共濟組合事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千參百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

難 波 治

海軍省南方政務部ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額參千六百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

横須賀海軍工廠囑託

(各通)

田 中 敬吉

長 尾 不二夫

自今報酬年額千貳百圓ヲ贈與ス

鈴木 武次

花 井 嘉夫

(各通)

富田 通貫

磯 貝 誠

成 田 豊二

大 井 上 博

横須賀海軍工廠機關實驗部ニ於ケル業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千貳百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

(各通)

松 浦 勝二

河 原 正志

第十一海軍航空廠工員養成所教務囑託ヲ解ク

谷 田 部 太 郎

(各通)

中 川 彦 治

水 谷 弘 吉

海軍艦政本部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

朝鮮總督府典獄 小 泉 知 朔

海南海軍施設部ニ於ケル業務ヲ囑託ス(以上同)

保 山 丸 三等運轉士 小 川 福 松

同 次 席 三等運轉士 本 間 松 藏

同 首 席 通信士 松 永 正 司

同 次 席 通信士 高 山 駿

海軍公報(部内限) 第四千五百四十一號 昭和十八年十一月十五日

二三二

0388

保山丸二等機關士 十川 貞一
 賜託（軍屬船員）ヲ命ジ部内限判任官ヲ以テ待遇セ
 ラル（十八月）海軍省兵備局

高千穂丸次席三等運轉士 青山 鐘五
 （各通） 同 三席三等機關士 田道 佐一郎
 同 事務員 田所 季晴
 同 郵便局員 伊牟田 佐一郎

賜託（軍屬船員）ヲ命ジ部内限判任官ヲ以テ待遇セ
 ラル（十九月同）

海軍主計中尉 中西 幸雄
 北京丸ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經
 費分任出納官吏ヲ命ス（計部）支出官 海軍省經理局長

○ 雜 款

○ 試驗問題發送

普通科水雷衛章附與第二回詮衡試驗問題
 右十一月五日左記ノ通發送濟、未着又ハ別ニ必要ノ向
 ハ至急海軍水雷學校ニ通知相成度

記

- 一 單獨試驗施行豫定ノ各部ニハ直送
- 二 聯合試驗用ノモノハ各海軍人事部及警備府宛送付

三 聯合試驗參加豫定ノ艦船ニシテ行動豫定變更ノ爲
 メ聯合試驗參加不能ノ向ニ對スル分トシテ單獨試驗
 用若干部各海軍人事部及警備府宛送付シアリ
 （海軍水雷學校）

○海軍保健場契約ニ關スル件
 首題ノ件當部ニ於テ契約決定セルモノ左記ノ通ニ有之
 候條可然了知ノ上利用相成度
 追テ保健場使用券ハ豫メ各在勤武官府ニ一括送付致
 置候條別紙關係法規ニ依リ受領相成度

記

契約者	所在地	供給旅館	保健場使用券受領先
辻 忠八	青森縣 淺虫溫泉	淺虫溫泉組合	大湊海軍 經理部
浦源次郎	北海道札幌別 登別町	登別溫泉組合	室蘭在勤 武官府
林幸太郎	北海道札幌別 定山溪溫泉	定山溪 ホテル 鹿ノ湯 旅館 月	小樽在勤 武官府
田中丑藏	北海道川上郡 川湯溫泉	御園 第一ホテル	釧路在勤 武官府
土沼助吉	北海道川上郡 弟子屈溫泉	弟子屈 ホテル 長生閣	釧路在勤 武官府

(別紙)

保健場關係法規一覽

一 戰時潛水艦乘員及航空機搭乗員等ノ保健ニ關スル施設其ノ他ノ件申進(軍務一機密第八六號昭和十七年二月五日軍務局長(昭和十七年二月十日海軍公報(部内限)參照))

二 戰時潛水艦乘員及航空機搭乗員等ノ保健ニ關スル施設其ノ他ノ件適用ニ關スル件申進(軍務一機密第一六九號昭和十八年三月六日軍務局長(昭和十八年三月九日海軍公報(部内限)參照))

三 大湊警備府保健場使用內規(機密大湊警備府法令第一〇六號(大湊警備府例規七四頁參照))
(大湊海軍經理部)

○事務所撤去

伊號第四十二潛水艦艦裝員事務所ハ十一月三日之ヲ撤去セリ

伊號第四十三潛水艦艦裝員事務所ハ十一月五日之ヲ撤去セリ

塩屋艦裝員事務所ハ十一月九日之ヲ撤去セリ

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十八年十一月十五日(月)
海軍大臣官房

○ 辭 令

國津丸事務長 三柳 治三
(昭和十六年十二月三日附)

國津丸二等運轉士 兵藤 武男
(昭和十七年四月十九日附)

囑託ヲ解ク(以上海軍省)

國津丸事務長 近江 仁
(昭和十六年十二月三日附)

國津丸二等運轉士 和田 金次郎
(昭和十七年四月十九日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

第二號大井丸機關長 宮崎 隆俊
(昭和十六年十二月三日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

三星丸一等運轉士 木脇 富一
(昭和十七年六月二十三日附)

三星丸一等運轉士 伊賀 義夫
(昭和十七年八月十日附)

三星丸一等機關士 岡崎 美勝
(昭和十七年八月二十二日附)

三星丸機關長 稻垣 惣吉
(昭和十八年二月二十八日附)

三星丸船長 石井 音哉
(昭和十八年七月三十一日附)

囑託ヲ解ク(以上同)

長和丸船長 今村 榮助
(昭和十七年七月三十一日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

長和丸船長 今村 榮助
(昭和十七年七月三十一日附)

囑託ヲ解ク(以上同)

鳴門丸一等機關士 有賀 二郎
(昭和十七年七月三十一日附)

三等機關士 寺島 智孝
(昭和十七年七月三十一日附)

船醫 森 哲一
(昭和十七年七月三十一日附)

(各通)

鳴門丸事務長 伊東 米作
(昭和十七年七月三十一日附)

鳴門丸船長 高須 平一
(昭和十七年九月二十七日附)

鳴門丸二等運轉士 橋本 正
(昭和十七年十一月一日附)

囑託ヲ解ク(以上同)

海軍公報 (部内限) 號外

0391

鳴門丸一等機關士 水野 嘉六
同 船醫 山崎 温
(以上昭和十七年七月二十五日附)

鳴門丸事務長 上野 巳三郎
(昭和十七年七月三十一日附)

鳴門丸船長 吉川 忠藏
(昭和十七年九月二十七日附)

鳴門丸二等運轉士 吉田 正治
(昭和十七年十月一日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

(各通)
山西丸 船長 竹原 茂吉
同 事務長 喜藤 悠仁
同 無線局長 前田 俊彦

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(昭和十七年七月二十七日附)

東京丸 事務長 有賀 幸彦
同 三等機關士 上野 義男
(以上昭和十七年七月二十七日附)

東京丸二等運轉士 讀井 芳彦
(昭和十七年八月六日附)

(各通)
東京丸首席二等機關士 武田 繁夫
(昭和十七年八月二十二日附)

東京丸次席二等機關士 高橋 馨
(昭和十七年十月二十六日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

東京丸首席二等機關士 武田 繁夫
(昭和十八年二月二十五日附)

東京丸船長 柳 健二
(昭和十八年二月三十一日附)

東京丸三席二等機關士 出田 一武
(昭和十八年三月二十一日附)

囑託ヲ解ク(以上同)

東京丸 船長 宮原 裕
同 首席二等機關士 高橋 廣治
(以上昭和十八年二月三十一日附)

(各通)
東京丸三席三等機關士 渡邊 庄平
(昭和十八年三月二十七日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

(各通)
晴山丸 船長 泉元 二吉
同 機關長 伊藤 幸一

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(昭和十七年十月三十一日附)

臺東丸二等運轉士 江尻 弘
(昭和十七年十月十三日附)

臺東丸三等運轉士 北村 孝一
(昭和十七年十月十四日附)

臺東丸船長 宮原 祐
(昭和十七年十月十六日附)

囑託ヲ解ク(以上同)
臺東丸一等機關士 宇治田 勝三
(昭和十七年十月二十五日附)

0392

第二日新丸一等運轉士 松下 類藏 (昭和十七年十二月五日附) 第二日新丸船長 櫻井 長治 (昭和十八年二月二十日附)	囑託ヲ解ク (以上同) 玉島丸無線局長 西木 清人 (昭和十七年十二月十五日附) 玉島丸事務長 今村 啓二 (昭和十八年二月二十六日附)	囑託ヲ解ク (以上同) 笠置丸機關長 直井 晋作 (昭和十七年十二月十五日附) 臺東丸機關長 和田 金五郎 (昭和十八年一月二日附) 臺東丸一等運轉士 大上 平吾 (昭和十八年七月二十九日附)	囑託ヲ解ク (以上同) 臺東丸船長 大西 茂 (昭和十八年八月五日附) 同 機關長 會澤 弘壽 (以上昭和十八年八月五日附) 同 事務長 樋口 富彦 (以上昭和十八年八月五日附)	囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (以上同) 諏訪丸次席二等機關士 明星 陸郎 (昭和十八年一月七日附) 諏訪丸船醫 嵯峨根 忠雄 (昭和十八年一月十日附)	諏訪丸機關長 岡本 茂一 (昭和十八年一月十三日附) 諏訪丸二等運轉士 沖 慶之 (昭和十八年一月十七日附) 諏訪一等機關士 有賀 二郎 (昭和十八年二月二十一日附)	囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (以上同) 諏訪丸次席二等機關士 間瀬 安夫 (昭和十八年一月七日附) 諏訪丸船醫 田村 良一 (昭和十八年一月十日附) 諏訪丸機關長 阿久澤 勇藏 (昭和十八年一月十二日附)	諏訪丸二等運轉士 伊東 武 (昭和十八年一月十七日附) 諏訪丸一等機關士 永島 茂雄 (昭和十八年二月二十一日附) 同 船長 今田 憲治 (昭和十八年二月二十一日附)	同 機關長 岡本 茂一 (昭和十八年二月二十一日附) 同 首席二等機關士 福原 森藏 (昭和十八年五月二十二日附) 同 船醫 嵯峨根 忠雄 (昭和十八年五月二十二日附)	諏訪丸 二等運轉士 沖 慶之 (昭和十八年五月二十二日附) 同 次席二等機關士 明星 陸郎 (昭和十八年五月二十二日附)
--	---	--	---	--	--	--	--	---	--

0393

諏訪丸三等運轉士 里哲郎
同 無線局長 橋本清
(以上昭和十八年六月十日附)

諏訪丸一等運轉士 長井滿
同 一等機關士 有賀二郎
同 事務長 長岡貞雄
(以上昭和十八年八月一日附)

囑託ヲ解ク(以上同)

日鏡丸一等運轉士 本間菊造
(昭和十八年一月十日附)

(各通)

日鏡丸二等運轉士 本村佐一
(昭和十八年四月十日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

山福丸一等運轉士 渡邊三良

囑託ヲ解ク(昭和十八年八月一日附)

金耶摩山丸首席通信士 武藤彰

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(昭和十八年四月十日附)

衣笠丸首席二等機關士 蝦名恭

(各通)

衣笠丸機關長 竹越要吉
(昭和十八年八月三日附)

囑託ヲ解ク(以上同)

衣笠丸機關長 柳原林壹

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(昭和十八年四月十日附)

(各通)

日南丸一等機關士 小林益一郎
(昭和十八年四月二十六日附)

囑託ヲ解ク(以上同)

日南丸一等機關士 藤澤弘之
(昭和十八年四月二十六日附)

(各通)

日南丸機關長 稻積力
(昭和十八年五月二十八日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

松本丸二等機關士 小松總一郎

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(昭和十八年四月十日附)

健洋丸二等運轉士 稻葉俊夫

同 三等運轉士 島津春男

同 二等機關士 土屋八郎

(以上昭和十八年五月二十三日附)

健洋丸事務長 横山義壽
(昭和十八年五月二十四日附)

健洋丸船長 江口吉藏
(昭和十八年六月十六日附)

健洋丸二等機關士 神野稔
(昭和十八年六月二十一日附)

囑託ヲ解ク(以上同)

0394

囑託ヲ解ク 第二號興東丸一等機關士 立石 二郎 囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (以上六等同) 第二號興東丸一等機關士 朝日 聰行 囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (以上六等同) 辰武丸 船長 赤穴 三郎 同 一等運轉士 佐々木 良夫 同 機關長 大島 政重 同 一等機關士 宇佐美 周作 同 通信局長 兼事務局長 大石 岩次 囑託ヲ解ク (六等同) 新玉丸一等運轉士 佐伯 盛一 (各通) 第一南陽丸船長 民 岩 幹 囑託ヲ解ク (六等同) 東洋丸一等機關士 糸山 忠三 同 二等運轉士 池田 佐助 囑託ヲ解ク 東洋丸一等機關士 川村 勝三 囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (以上六等同) 建川丸二等機關士 嶋田 光明 囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (六等同) 菊川丸通信局長 小野 友二 囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (六等同)	囑託ヲ解ク 高砂丸二等運轉士 多田 完二郎 (各通) 高砂丸三席二等機關士 徳永 喜多男 囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (以上同) 日進丸船長 河原 百松 同 機關長 中尾 末彦 囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (六等同) 日吉丸一等機關士 宮地 滿 囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (六等同) 藤影丸一等機關士 中村 昌行 囑託ヲ解ク 藤影丸一等機關士 松本 榮五郎 囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (以上六等同) 興津丸一等機關士 青木 利策 同 二等機關士 白須 季夫 (以上昭和十八年六月二十八日附) 興津丸機關長 丸山 勝正 (昭和十八年六月二十九日附) 囑託ヲ解ク (以上同) 第二圖南丸無線局長 石川 武男 (各通) 乾隆丸通信局長 鈴木 好晴 囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (七等同)
--	--

(各通)

北江丸 船長 石崎 恭介
同 一等運轉士 石川 万三
同 機關長 佐々木 周一
同 一等機關士 福岡 政一郎
同 無線局長 草野 萬吉

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

桑港丸 一等運轉士 森田 信之
(昭和十八年七月九日附)

桑港丸 船長 大原 鶴夫
(昭和十八年七月十三日附)

(各通)

桑港丸 機關長 高見 俊衛
(昭和十八年七月十五日附)

桑港丸 無線局長 貝和 平治
(昭和十八年七月十九日附)

囑託ヲ解ク(以上同)

南滿丸 一等機關士 岡田 健二

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

昭榮丸 一等運轉士 森島 昌之

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

西阿丸 一等運轉士 北原 正美
(昭和十八年七月十一日附)

西阿丸 三等運轉士 本多 穆介
(昭和十八年七月十二日附)

(各通)

囑託ヲ解ク(以上同)

西阿丸 事務長 林田 輝夫
(昭和十八年七月十四日附)

西阿丸 一等運轉士 山中 浩
(昭和十八年七月十一日附)

(各通)

西阿丸 事務長 干頭 竹猪
(昭和十八年七月十四日附)

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

太隆丸 一等機關士 大野 義明

囑託ヲ解ク

太隆丸 一等機關士 森元 武夫

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

寶洋丸 一等運轉士 渡邊 精次郎

囑託ヲ解ク

寶洋丸 一等運轉士 小縣 國祐

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

第三共榮丸 一等運轉士 田中 利顯

囑託ヲ解ク

隆興丸 船長 片渕 定作

(各通)

同 一等運轉士 高木 次郎

同 機關長 下山 一平

囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上同)

同 一等機關士 太田 末男

0396

興新丸機關長 中家 甚治郎
 囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (二十三日同)
 神光丸一等運轉士 堤 秋生
 囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (二十七日同)
 能代丸船長 徳永 貞砥
 (昭和十八年七月三十一日附)
 能代丸事務長 沖田 巳之吉
 (昭和十八年八月二日附)
 囑託ヲ解ク (以上同)
 能代丸事務長 板倉 富治
 囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (二八日同)
 協和丸船長 平出 善五郎
 囑託ヲ解ク
 協和丸船長 松山 忠
 囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (以上六日同)
 日曠丸事務長 渡邊 貫
 (各通)
 稻荷丸一等運轉士 川端 幸一
 囑託ヲ解ク
 稻荷丸一等運轉士 佐々木 榮作
 囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (以上二日同)
 たるしま丸一等運轉士 山本 謙藏
 囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (ハ日同)

乙がね丸 船長 奥住 繁治
 同 機關長 八幡 貞二
 同 一等運轉士 飯田 政一
 同 一等機關士 村上 好孝
 同 無線局長 勝俣 一郎
 囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (一八日同)
 乾祥丸一等機關士 蒔田 賢藏
 (昭和十八年八月十六日附)
 乾祥丸機關長 徳重 九一郎
 (昭和十八年八月十九日附)
 乾祥丸船長 足立 盛司
 (昭和十八年八月二十二日附)
 囑託ヲ解ク (以上同)
 三江丸一等運轉士 山本 龍雲
 同 機關長 鈴川 克己
 同 無線局長 原 章次
 囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (ハ日同)
 龍田丸一等運轉士 鈴木 久吉
 囑託ヲ解ク
 龍田丸一等運轉士 本間 勝吉
 囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス (以上二日同)
 囑託 (第十八日影丸 一等機關士) 高次 義次
 佐世保海軍港務部ニ於ケル事務ヲ囑託ス (待遇如故)

萬光丸 船長 武田 六郎	同 一等運轉士 本橋 一雄	同 二等運轉士 竹内 浩	同 機關長 永島 武彦	同 一等機關士 松川 月夫	同 二等機關士 三好 豊	同 通信局長 齋藤 佐々雄	同 神盛丸 一等運轉士 秀島 貞士	同 一等機關士 武尾 清重	日帝丸 船長 西村 喜八郎	日帝丸 船長 森本 重康
--------------	---------------	--------------	-------------	---------------	--------------	---------------	-------------------	---------------	---------------	--------------

(各通)
 囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上ハテ同)
 囑託ヲ解ク(ハテ同)
 囑託ヲ解ク
 囑託ヲ命シ部内限奏任官待遇トス(以上ハテ同)

0398

海軍公報(部内限) 號外

昭和十八年十一月十五日(月)
海軍大臣官房

○郵便物發送先通知(宛先ハ下段ノ通記載ノコト)

○艦船ノ部

一 筑摩司令部、筑摩、八海丸

一 早鞆

横須賀局氣付 筑摩司令部、筑摩、八海丸
吳局氣付 早鞆

一 神威、伊一六六潜司令、伊一六六潜、伊一六五潜、伊一六二潜

佐世保局氣付 神威、伊一六六潜司令、伊一六六潜、伊一六五潜、伊一六二潜

○陸上ノ部

一 父島航空隊

一 第三十三防空隊

一 第三十五防空隊

一 タバオ在勤海軍武官府

一 セブ在勤海軍武官府

一 第七〇五航空隊

木更津航空基地氣付「ウ四六」
横須賀海軍砲術學校内「セ九參」
同 「セ九四」
吳局氣付「テ四參」
同 「テ四七」
佐世保局氣付「イ參貳」
同 「ウ參五參」

(第十七驅逐隊)

司令、隊宛
隊機關長、軍醫長宛
主計長宛

浦風
谷風
磯風

隊(司令部)、司令、主計長宛 第十京丸

海軍公報(部内限) 號外

八七

0399

(略) (白) (端)

海軍公報 (部内限) 號外

八八

機關長、軍醫長宛
追テ隊、司令宛等ニシテ珠江丸ニ關係アルモノハ
寫テ同艇ニ送付サレ度
(第六十驅潜隊)

0400

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第四千五百四十二號

昭和十八年十一月十六日(火)

海軍大臣官房

○ 辭 令

第二十七海軍軍用郵便所員ヲ免ス	通信書記 横山 正夫
第十一海軍軍用郵便所員ヲ免ス	同 皆川 行雄
第三十六海軍軍用郵便所員ヲ免ス	事務員 篠 作 藏
第三十二海軍軍用郵便所員ヲ免ス	同 廣瀬 文男
第十三海軍軍用郵便所員ヲ免ス(以上計七名海軍省)	遞信局書記補 橋田 松雄
第四十一海軍軍用郵便所員ヲ免ス(計八名同)	遞信局事務官 服田 友治
第四海軍軍用郵便所長ヲ免シ第八海軍軍用郵便所長ヲ命ス	同 大石 重顯

○ 雜 款

第四海軍軍用郵便所長ヲ命ス(計九名同)	同 檜 山 奥
第七海軍軍用郵便所員ヲ免ス(計四名同)	通信書記 城光寺 利雄
(各通)	同 坂名城 弘志
第七海軍軍用郵便所員ヲ命ス(計四名同)	同 村田 成穗
愛國丸ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦隊經費臨時分任出納官吏ヲ命シ置キタル處之ヲ免ス(計四名)	海軍豫備大尉 橋本 貞秋
支出官 海軍省經理局長)	

○試験問題發送
普通科 機雷術 水測術 特技章附與第二回銓衡試験問題
右十一月十日左記ノ通發送済、未着又ハ別ニ必要ノ向ハ海軍機雷學校ニ至急通知相成度

海軍公報(部内限) 第四千五百四十二號 昭和十八年十一月十六日

一二三五

0401

記

- 一 單獨試驗施行豫定ノ各部ニハ直送
- 二 聯合試驗用ノモノハ各海軍人事部及警備府宛送付
- 三 聯合試驗參加豫定ノ艦船ニシテ行動豫定變更ノ爲聯合試驗參加不能ノ向ニ對スル分トシテ單獨試驗用若干部各海軍人事部宛送付シ置ケリ

（海軍機雷學校）

○隊名使用ニ關スル件

千島方面特別根據地隊ハ本年八月五日附千島方面根據地隊ニ改編セラレタル處未ダ舊隊名ヲ使用スル向勢カラザルニ付右丁知相成度

（千島方面根據地隊）

○轉勤者赴任ニ關スル件

當隊宛轉勤者ハ特別ノ事情ナキ限り當隊館山派遣隊（館山海軍航空隊内）ニ向ケ赴任セシメラレ度

（第五三一海軍航空隊）

○事務開始

沖波艦裝具事務所ハ十一月十日舞鶴海軍工廠内ニ於テ事務ヲ開始セリ

呂號第四十五潜水艦裝具事務所ハ十一月十日三菱神戸造船所内ニ於テ事務ヲ開始セリ

0402

海軍公報

(部内限) 第四千五百四十三號

昭和十八年十一月十七日(水)

海軍大臣官房

○令達

官房第一二八七號

海軍艦政本部臨時資材部規程左ノ通定ム

昭和十八年十一月十三日

海軍大臣

海軍艦政本部臨時資材部規程

第一條 當分ノ間海軍艦政本部ニ臨時資材部ヲ置ク

第二條 臨時資材部ハ左ノ事務ヲ掌ル

一 造船及造兵ノ原料材料ノ需要計畫ニ關スルコト

二 材料工場ノ利用方針及之ガ統制ニ關スルコト

三 造船及造兵ノ材料ノ調査ニ關スルコト

四 造船及造兵ノ原料材料ノ節約、代用及回收ニ關スルコト

五 年度物動計畫ノ調査ニ關スルコト

六 材料工場ノ調査及施設擴充ニ關スルコト

七 材料工場ノ生産ニ必要ナル動力、燃料及副資材ノ確保ニ關スルコト

八 造船及造兵ノ原料材料ノ規格並ニ素材及原料ノ研究實驗ニ關スル各部事務ノ綜合統一ニ關スルコト

九 統計及年報材料ニ關スルコト

第三條 臨時資材部ニ部長、班長、班員及附ヲ置ク海

軍艦政本部ノ職員ノ中ヨリ海軍艦政本部長之ヲ命ズ

第四條 臨時資材部長ハ海軍艦政本部長ノ命ヲ承ケ部

務ヲ掌理ス

第五條 班長ハ臨時資材部長ノ命ヲ承ケ服務ス

第六條 班員ハ班長ノ命ヲ承ケ服務ス

第七條 附ハ上官ノ命ヲ承ケ服務ス

附則

海軍艦政本部總務部第五課及第六課並ニ會計部第二課

ニ於テハ第二條各號ニ掲グル事項ハ海軍艦政本部處務

規程ニ拘ラズ臨時資材部設置中ノヲ掌ラザルモノトス

官房經機密第八五一號

佛印特派大使海軍隨員事務所ノ支拂ニ要スル經費ハ艦

海軍公報(部内限) 第四千五百四十三號

昭和十八年十一月十七日

一二三七

0403

除經費支辨トシ第百一海軍經理部西貢支部長ヲシテ之ヲ掌理セシム

昭和十八年十一月十六日

海軍大臣

官房經機密第三八一號ノ二

昭和十八年官房經機密第三八一號中左ノ通改正ス

昭和十八年十一月十六日

海軍大臣

第四號ヲ左ノ如ク改ム

四旅費

海兵團ヨリ教育ノ爲配員先ニ旅行スル場合及教育中ノ者轉勤ノ場合ノ日當、宿泊料又ハ食卓料ハ海軍内國旅費規則第三十一條、海軍南洋群島關東州滿洲旅費規則第十四條及海軍外國旅費規則第十條ノ規定ニ依リ之ヲ支給シ着後手當及移轉料ハ之ヲ支給セズ

（參照）海軍機密會計法規類集一一二ノ五頁

官房經第一二四三號

昭和十七年官房第四〇〇四號中第二項ヲ削ル

昭和十八年十一月十六日

（參照）海軍機密會計法規類集一二四ノ一五頁

海軍大臣

○通牒

官房經第一二四四號

昭和十八年十一月十六日

海軍次官

各所屬長官殿

官廳ニ於ケル職域貯蓄ノ實踐ニ關スル件
中改正ノ件申進

昭和十七年官房第七二三七號申進首額ノ件中左ノ通改正セラレ候

記

第四號中「又ハ報國債券ノ買入ニ充ツルモノトシ之ガ買入額計算上端數ノ金額ハ貯金ト爲スモノトス」ヲ「若ハ報國債券ノ買入（買入額計算上ノ一回以上ノ端數ハ郵便貯金又ハ國債貯金トシ一回未滿ノ端數ハ之ヲ切捨ツ）又ハ國債貯金ニ充ツルモノトス」ニ、「其ノ他特ニ定ムルモノ」ヲ「國債貯金」ニ改ム

（參照）海軍會計法規類集二卷八〇八ノ四八ノ二頁

0404

○ 雜 款

○司令驅逐艦變更
第二十二驅逐隊司令ハ十月二十六日司令驅逐艦ヲ文月ニ變更セリ

○轉勤者赴任順路

當隊轉勤者ハ左ニ依ラレ度

一 横須賀方面ヨリ

東海道線藤澤驛經由東京急行電鐵線（江ノ島線）西大和ニテ乗替神中線（地方鐵道）相模大塚驛下車

二 東京方面ヨリ

東海道線横濱驛乗替神中線（地方鐵道）相模大塚驛下車
（相模野海軍航空隊）

○郵便物發送先

當隊所在地町制施行ニ依リ郵便物發送先左ノ通

神奈川縣高座郡大和町

（舊）神奈川縣高座郡大和村

追テ當隊宛速達郵便物ニシテ特別地域料金貼付無之爲不足料金毎月相當金額ニ達スル現狀ニ付自今當隊宛速達郵便物ハ特別地域料金貼付相成度
（厚木海軍航空隊）

○事務開始
第五十二號驅逐艦艇裝具事務所ハ十一月二日大阪市西成區北加賀屋町三十一番地浪速船渠株式會社内ニ於テ事務開始セリ

海軍公報（部内限）第四千五百四十三號

昭和十八年十一月十七日

一二三九

0405

(限 内 部)

海軍公報

(部内限)第四千五百四十四號

海軍大臣官房

昭和十八年十一月十八日(木)

○ 令 達

官房經第一二三一號

當分ノ間海軍軍人軍屬及囑託者勤務廳以外ノ艦船部隊、學校ニ於テ公務ニ從事中自ラ食事ヲ調辦スルコト能ハザルトキハ當該艦船部隊、學校ノ長必要ト認メタル場合ニ限リ糧食ヲ給與スルコトヲ得勤務廳タル艦船部隊、學校ニ於テ糧食ノ給與ヲ受ケザル者ニ對シ所轄長必要ト認メタル場合亦同ジ
旅費ノ支給ヲ受クル者及海軍給與令其ノ他ノ規定ニ依リ糧食(食料)ノ支給ニ代ヘ糧食ヲ給與スル場合ヲ含ム
ノ給與ヲ受ケザル者ニ對シ前項ノ規定ニ依リ糧食ヲ給與シタルトキハ一食ニ付三十錢ヲ辨償セシメ之ヲ歲入ニ納付スルモノトス

昭和十八年十一月十三日

海軍大臣

官房經第一二三二號

大東亞戰爭中陸軍ノ准士官以上艦船部隊ニ於テ服務スルトキハ海軍軍人ニ準ジ食料ヲ支給スルコトヲ得
本令ハ昭和十八年九月二十八日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十八年十一月十三日

海軍大臣

官房備第二三〇號ノ二

昭和十八年官房備第二三〇號中左ノ通改正ス

昭和十八年十一月十六日

海軍大臣

第十號中「參列」ノ下ニ「シヌハ遺骨迎ヘノ爲官公署等ニ出頭」ヲ加フ

○ 通 牒

軍需糧第六二號

昭和十八年十一月十七日

海軍公報(部内限)第四千五百四十四號

昭和十八年十一月十八日

一二四一

0406

各關係廳御中

海軍省 海軍省軍需局
海軍省 經理局

官房需第一八八號ノ取扱ニ關スル件通知

首題官房號中左記事項ニ付疑義ヲ有スル向有之候處之
ガ解釋下記ノ通ニ有之候

記

事 項	解 釋
一「特ニ必要アル場合」ノ意義	本令ノ趣旨ハ一般食糧品ノ調達及補給ノ現狀ニ鑑ミ艦船部隊ニ在リテハ全面的糧食給與ヲ必要ト認メラレタルニ依ルモノニ付現品ヲ以テ給シ難キ場合例ヘバ二、三品程度ヨリ在庫ナク從テ食料ヲ支給シ一部在庫現品ノ交換シ代價控除ノ方法ヲ採ルノ外ナキ場合或ハ司令部等ニ於テ現品給與ヲ甚シク不適トスル場合等ノ外ハ糧食給與ヲ爲スノ意ナリ
二 併給食料	(1) 本人渡又ハ食卓長渡トス基本食ニ對シ支給スルモノ
三 夜食料	昭十七年官房第二〇〇二號ニ依ル夜食料ハ金給ヲ原則トスルモ已ムヲ得ザル場合ハ給與令第八十一條第二項ニ準ジ處理差支ナシ
四 出張等公務ニ依リ來艦(隊)シタル者ニ對スル糧食給與	昭和十八年官房經第一二三一號(昭和一八、一一、一八海軍公報(部内限))ニ依リ處理ノコト但シ併給食料ハ之ヲ支給セズ右ノ場合給與令等ニ依リ糧食ノ給與ヲ受クル資格アル者ニ付テハ勤務應ニ於テハ當然不給食ト爲リ併給食料ハ支給セズ
五 「艦船部隊勤務ノ部内限高等官判任官待遇者ニシテ食料ヲ給	左ノ規定ニ依ル艦船部隊ノ該當者ヲ指シタルモノニシテ内地陸上部隊勤務ノ部内限高等官及判任官待遇者ニハ食料給與ノ規定ナキヲ以テ適用セラレズ但シ此
	ニシテ夜食ニ對シテハ支給セズ (3) 不給食ニ對シテハ支給セズ (4) 給與令第八十一條第二項ニ依リ其ノ全部又ハ一部ヲ糧食品中適宜ノ品種ニ換給スルコトヲ得

0407

スベキ者」ノ意	等ノ者ハ前號ノ官房經號ニ依リ	給與規則ニ依ル
義	糧食ノ給與ヲ受クルコトヲ得	艦船部隊ヲ含ム
	(辨償ヲ要ス)	
	海軍戰時特例給與規則	
	在外海軍部隊艦船臨時給與令	
	及同施行細則	
	海軍徵備船舶船員給與規則	
	昭和十七年官房第四五九一號	
	(海軍機密會計法規類集一一	
	二ノ七頁)	
六 食數報告票ニ	戰地外ニ在リテハ記載ス	
記載ノ要否		
七 糧食品支出簿	記載ス	
又ハ糧食給與食		
數簿ニ記載ノ要		
否		
八 本官房號實施	各室食卓ニ於テ適宜處分ノコト	
前各室食卓ニ於	但シ米麥等ニシテ多量ノ殘高アル	
テ購入シタル食	ルモノハ軍需部又ハ請負人所在	
糧品ノ殘高ノ整	地外ニ在リテハ直買ノ形式ニ依	
理	リ處理差支ナシ	
九 在外海軍部隊	含ム	
艦船臨時給與令	尙同上規定ニ依ル各部ニモ適用	
及海軍戰時特例	シ差支ナシ	

○ 辭 令	
臺灣總督府地方技師	本多 平八郎
臺灣總督府技師	石川 昭
同	杉田 文雄
同	吉傘田 正策
同	富川 良秀
同	博田 勉
同	村田 宗二
同	濱津 清造
花蓮港廳技師	渡邊 行一郎
同	臺中州郡技師
臺中州郡技師	橫山 三郎
臺中州建築技師	中村 恒之
元新竹市技師	廣田 仁治
南東方面艦隊司令部附シ命ス(元海軍省)	
鐵道官補	多胡 市太郎

（各通）

運輸通信省雇 岡田 頼伏
同 寺田 清美
同 清水 榮三

第二南遣艦隊司令部附ヲ命ス（以上同）

海軍主計中尉 宮原 良

驅逐艦夕風ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦
隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス（以上支出官 海軍省
經理局長）

同 石川 誠三

驅逐艦夕風ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦
隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス

同 宮原 良

右同臨時分任出納官吏ヲ免ス（以上同）

同 平林 格郎

驅逐艦夕風ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支拂ノ爲艦
隊經費臨時分任出納官吏ヲ命ス

同 石川 誠三

右同臨時分任出納官吏ヲ免ス（以上同）

○ 雜 款

○訂正
四月二十日附公報（部内限）辭令欄海軍主計中尉石踊
幸雄辭令文中「驅逐艦夕月及同夕風ニ要スル」トアル
ヲ「驅逐艦夕月ニ要スル」ニ訂正ス

0409

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第四千五百四十五號

昭和十八年十一月十九日(金)

海軍大臣官房

○令 達

官房人機密第八三七號

所屬長官ハ十二月一日現在員(特ニ指定スル者ヲ除ク)ニ付左記標準
ニ依リ年末賞與ヲ支給スベシ但シ本年十一月月中ニ召集
解除、現役満期又ハ服役延期解止ノ海軍軍人竝ニ入營
ノ爲休職、解雇又ハ解備ノ文官、雇員及傭人ニ對シテ
モ召集解除、退團又ハ休職、解雇、解備ノ日現在ヲ以
テ年末賞與ヲ支給スルコトヲ得

昭和十八年十一月十七日

海軍大臣

記

區 分

賞 與 額 (本俸又ハ
給料ニ付)

扶養家族
ナキ者 以內ノ三人 以上ノ四人

士官、特務士官、
候補生、見習尉官、
高等文官同待遇者及
勅奏任官待遇囑託者

二・九月份 三・三月份 三・五月份
以內 以內 以內

准士官、下士官、
判任文官同待遇者、
判任官待遇囑託者、
無待遇囑託者、雇員
及傭人(月給者)

雇員及傭人(日給者)

兵長、上等兵

一等兵 (昭和十八年九月
一日以前進級シ
タル者ニ限ル)

備

一 扶養家族ノ範圍ハ海軍臨時家族手當支給規
則第三條所定ニ準ズ
二 囑託者中一時ノ報酬ヲ受クル者及本官アル
者ニ對シテハ支給セザルモノトス

考

○通 牒

海軍公報(部内限) 第四千五百四十五號

昭和十八年十一月十九日

一二四五

0410

官房第七六七號

昭和十八年十一月十七日

海軍省 副官

各廳長殿

小型船舶ノ郵便物發送先ニ關スル件申進
機帆船等小型船舶宛郵便物ニシテ各交換局ニ於テ送達
先不明ノモノ著シク増加シ處理上支障多キニ付此等小
型船舶ヲ配屬又ハ保持スル場合ハ左記ニ依リ發送先ヲ
明ラカナラシムル様特ニ留意相成度

記

一 部隊ニ配屬セラレタル小船艇ニ對シテハ當該部隊
ヲ發送先トス

例 (第二十五特別根據地隊所屬) 日本丸

横須賀郵便局氣付「セ四七セ六六」日本丸

二 所屬部隊ト離レ行動スル小船艇ハ其ノ基地名ヲ區
別符ニ依リ冠記スルコト尙所在郵便局ニ連絡シ置ク
コト

例 佐世保局氣付「イ壹九」日本丸

吳局氣付 日本丸

三 常ニ行動スル小船艇ニシテ右ニ依リ難キモノト雖
モ成ルベク郵便物受領ニ便ナル箇所ヲ一定シ最寄郵

便機關ニ通知シ置クコト

例 何々局、所、會社等 日本丸

四 前各號ニ依リ難キモノハ從來通昭和十八年五月一
日附(部内限)公報「別冊郵便物取扱ニ關スル例規」
ニ依ルコト

兵備四第二一五號

昭和十八年十一月十八日

海軍省 兵備局長

關係各廳長殿

男子從業等ノ禁止、制限ニ伴フ從業者ノ
生活援護費支給ニ關スル件照會

首題ニ關シ別紙寫ノ通厚生次官ヨリ照會有之候處海軍
ニ於ケル之ガ取扱ニ關シテハ該通牒ニ依ルノ外九月十
八日兵備四第一六一號企業整備ニ伴フ從業者ノ生活援
護費ニ關スル件申進ニ準ジ取扱フ義ト了知相成度

(參照) 兵備四第一六一號ハ九月十八日海軍公報(部内限)

(別紙)

厚生省發勤第四六九號

昭和十八年十月二十三日

厚生 次官

0411

海軍次官殿

男子従業等ノ禁止、制限ニ伴フ従業者ノ
生活援護費支給ニ關スル件

男子従業禁止ニ依ル轉職者ニ對シ生活援護費ヲ支給セ
ラルコトト相成本日別紙寫ノ通各地方長官宛通牒致
置候處貴省竝ニ貴省關係各廳ノ職員ニ對シ本制度ノ趣
旨徹底方可然御配意相煩度

(別紙寫)

厚生省發勤第四六九號

昭和十八年十月二十三日

厚生次官

各地方長官殿

男子従業等ノ禁止、制限ニ伴フ従業者ノ
生活援護費支給ニ關スル件依命通牒

勞務調整令第八條ノ二ノ規定ニ基ク男子従業等ノ禁
止、制限ニ伴フ之等従業者ニ對スル生活援護費ノ支給
ニ關シテハ左記御留意ノ上本年七月二十二日厚生省發
勤第三三六號通牒企業整備ニ伴フ従業者ノ生活援護費
支給要綱ニ準據シ支給方可然御措置相成度
追テ本件生活援護費ノ經理ニ關シテハ既配賦豫算額
中ヨリ支出相成可然義ト御了知相成度申添候

記

一 就職後ノ生活援護費支給ノ申請書ニハ男子従業禁
止ニ依ル轉職者ナル旨ノ從前ノ雇傭主ノ證明書(別
紙様式)及本年七月二十二日厚生省發勤第三三六號
通牒ノ生活援護費支給要綱第三號様式ニ依ル從前ノ
收入申告書ヲ添附セシムルコト

二 離職中竝ニ就職後ノ生活援護費ノ支給金額及支給
期間ハ企業整備ノ場合ニ準ジ之ヲ決定スルコト

三 本生活援護費實施狀況ハ企業整備ノ生活援護費支給
要綱ニ依ル生活援護費實施狀況ノ報告ニ含メ一括之
ヲ報告スルコト但シ本援護費該當ノ者ニ付テハ第五
號様式該當欄ニ括弧ヲ附シ抽出記載スルコト

四 從前ノ收入申告書ニ記載スベキ月收額ハ企業整備
ノ生活援護費支給要綱第三號様式記載注意四ニ不拘
基本給、手當等ノ外賞與(月割額)ヲ含メタル合計
額ヲ記載スルコト尙企業整備ニ依ル轉職者ノ月收額
ノ算定ニ付テモ爾後右ニ依ルコト

五 同一事業主ノ他ノ職場ニ轉換シタル者ニ對シテハ
其ノ爲ニ收入ノ減少ヲ來サザル様指導スルコトトシ
本生活援護費ハ支給セザルコト

(様式添)

海軍公報(部内限)第四千五百四十五號

昭和十八年十一月十九日

一二四七

0412

海人機密第三〇號ノ一四二

昭和十八年十一月十七日

海軍省人事局長
海軍省經理局長

關係各所轄長殿

年末賞與支給ニ關スル件申進

本年官房人機密第八三七號ニ依ル年末賞與ハ左記ニ依リ取扱フモノト了知相成度

記

一 本年七月一日ヨリ同十二月一日迄ノ日數ヲ本賞與ノ期間トシ扶養家族數ハ本年十一月一日現在ニ依ルモノトス

二 十二月一日現在ニ於テ未ダ戰死(戰傷死又ハ戰病死ヲ含ム)公表セラレズ俸給又ハ給料ヲ受ケツツアル者ニ對シテハ在籍廳(俸給又ハ給料ノ家族渡ヲ受ケツツアル者ニ對シテハ家族渡廳)ニ於テ支給ス

三 海軍文官同待遇者、囑託者又ハ雇員傭人ニシテ在籍ノ儘海軍ニ徵集又ハ召集セラレ本年十二月一日ニ於テ海軍軍人タルモノニ對シテハ海軍文官同待遇者、囑託者又ハ雇員傭人タル身分ニ於ケル俸給、報酬金又ハ給料ニ付徵集又ハ召集中ノ日數ヲ除算シタ

ル勤務日數ニ應ジ算出シタル金額ヲ在籍廳ニ於テ支給シ徵集又ハ召集中ノ海軍軍人タル身分ニ於ケル俸給ニ付徵集又ハ召集中ノ勤務日數ニ應ジ算出シタル金額ヲ現所屬廳ニ於テ支給ス

四 海軍文官同待遇者、囑託者又ハ雇員傭人ニシテ在籍ノ儘海軍ニ徵集又ハ召集セラレ本年十二月一日以前ニ現役ヲ離レ又ハ召集ヲ解除セラレ在籍廳ニ復歸シタルモノニ對シテハ本年十二月一日現在ノ海軍文官同待遇者、囑託者又ハ雇員傭人タル身分ニ於ケル俸給、報酬金又ハ給料ニ付徵集又ハ召集中ノ勤務日數ヲ通算シ算出シタル金額ヲ在籍廳ニ於テ支給ス

五 海軍文官同待遇者、囑託者又ハ雇員傭人ニシテ在籍ノ儘陸軍ニ徵集又ハ召集セラレ本年十二月一日ニ於テ徵集又ハ召集中ノモノ又ハ其ノ以前ニ於テ現役ヲ離レ若ハ召集ヲ解除セラレ在籍廳ニ復歸シタルモノニ對シテハ本年十二月一日現在ノ海軍文官同待遇者、囑託者又ハ雇員傭人タル身分ニ於ケル俸給、報酬金又ハ給料ニ付徵集又ハ召集中ノ日數ヲ除算シタル勤務日數ニ應ジ算出シタル金額ヲ在籍廳ニ於テ支給ス

六 海軍軍人ニシテ大東亞戰爭ニ關シ陸軍ノ勤務ニ從

0413

事セシメラレタルモノニ對シテハ陸軍ニ於ケル勤務
日數ヲ通算シ算出シタル金額ヲ海軍ノ在籍應ニ於テ
支給ス

七 本賞與期間内ニ於テ二回以上召集セラレタル者ノ
召集中ノ日數ハ其ノ前後ノモノヲ通算ス

八 海軍文官同待遇者ニシテ昭和十六年勅令第八百四
號ノ規定ニ依リ海軍ノ勤務ニ従事シ本年十二月一日
ニ於テ海軍軍人タルモノニ對シテハ海軍文官同待遇
者タリシ身分ニ於テ最後ニ受ケタル俸給ニ付海軍文
官同待遇者トシテ勤務シタル日數ニ應ジ算出シタル
金額ト海軍軍人タル身分ニ於ケル俸給ニ付昭和十六
年勅令第八百四號ニ依ル勤務日數ニ應ジ算出シタル
金額トノ合計金額ヲ現所屬應ニ於テ支給ス

九 海軍文官同待遇者ニシテ昭和十六年勅令第八百四
號ノ規定ニ依リ海軍ノ勤務ニ従事シ本年十二月一日
以前ニ其ノ勤務ヲ解除セラレ再ビ海軍文官同待遇者
ト爲リタルモノニ對シテハ本年十二月一日現在ノ海
軍文官同待遇者タル身分ニ於ケル俸給ニ付昭和十六
年勅令第八百四號ニ依ル勤務日數ヲ通算シ算出シタ
ル金額ヲ現所屬應ニ於テ支給ス

十 嘱託者又ハ雇員傭人ニシテ在籍ノ儘昭和十六年勅

令第八百四號ノ規定ニ依リ海軍ノ勤務ニ従事シ本年
十二月一日ニ於テ海軍軍人タルモノニ對シテハ嘱託
者又ハ雇員傭人タル身分ニ於ケル報酬金又ハ給料ニ
付勅令第八百四號ニ依ル勤務日數ヲ除算シタル勤務
日數ニ應ジ算出シタル金額ヲ在籍應ニ於テ支給シ海
軍軍人タル身分ニ於ケル俸給ニ付昭和十六年勅令第
八百四號ニ依ル勤務日數ニ應ジ算出シタル金額ヲ現
所屬應ニ於テ支給ス

十一 嘱託者又ハ雇員傭人ニシテ在籍ノ儘昭和十六年
勅令第八百四號ノ規定ニ依リ海軍ノ勤務ニ従事シ本
年十二月一日以前ニ其ノ勤務ヲ解除セラレ在籍應ニ
復歸シタルモノニ對シテハ本年十二月一日現在ノ嘱
託者又ハ雇員傭人タル身分ニ於ケル報酬金又ハ給料
ニ付昭和十六年勅令第八百四號ニ依ル勤務日數ヲ通
算シ算出シタル金額ヲ在籍應ニ於テ支給ス

十二 各省(廳)職員トシテ專任セラレタル定員外海
軍武官ニシテ本年十一月三十日以前海軍ニ復歸シタ
ル者ニ對シテハ其ノ勤務期間ヲ海軍ニ於ケル勤務期
間ニ通算シ算出シタル金額ヲ現所屬應ニ於テ支給ス
十三 昭和十六年勅令第二百四號ニ依リ部外ノ文官
同待遇者ヨリ海軍文官同待遇者ニ轉官職セシメラレ

タル者及明治三十八年勅令第四十三號ニ依リ所屬官廳ノ定員外ト爲リ海軍ニ勤務セシメラレタル者（以下臨時職員ト稱ス）ニ對シテハ年末年度末賞與内規第四條ノ規定ニ拘ラズ左ニ依ルモノトス

(イ) 十一月三十日現在ニ於テ臨時職員タリシ者ニ對シテハ本賞與ノ全期間勤務セシモノト看做シ賞與金全額ヲ支給ス

(ロ) 十一月三十日以前海軍ヨリ轉出シタル臨時職員及十二月一日以後臨時職員トシテ海軍ニ轉入シ來レル者ニ對シテハ支給セズ

(十一月三十日附ヲ以テ發令ノ者ニ對シテハ新所屬ノ省（廳）ニ於テ支給スルモノトス）

○ 辭 令

徵用中年額千八百貳拾圓ヲ給シ部内限委任官待遇トス（十九海軍省）

（各通）

通信院屬 山田 輝義
通信書記補 山川 政雄
同 河野 岩雄

第十一海軍軍用郵便所員ヲ命テ

（各通） 事務員 中村 義一
同 伊澤 一雄
第十一海軍軍用郵便所員ヲ命ス
但シ身分ノ取扱ハ雇員トス（以上註同）

（各通）

千參百圓 杉本 隆二
千參百圓 佐藤 信
千參百圓 田中 幸雄
千參百圓 渡邊 正男
千參百圓 柴田 正司
千參百圓 森嶋 正治

徵用中自今年額（各頭書ノ通）ヲ給シ部内限委任官待遇トス（十九同）

廣和丸無線通信士 竹脇 信雄
囑託（軍屬船員）ヲ命ジ部内限判任官ヲ以テ待遇セラル（三海軍省兵備局）

臺灣總督府技手 松本 金太郎
海軍省南方政務部ニ於ケル事務ヲ囑託ス（十一海軍省南方政務部）

様式

男子従業等ノ禁止、制限ニ依ル轉職證明書

(昭和十八年十一月十九日海軍公報(部内限))

官社衛 會場 工 其 他	所在地	
	名	稱
從業者氏名		

一 右ノ者昭和 年 月 日

日男子従業等ノ禁止、制限ニ依リ轉職シタルモノナリ

二 右ノ者自 年 月 日

日間金 圓 錢也離職中ノ生活援護

費ノ支給ヲ受ケタルモノナリ

右證明ス

昭和 年 月 日

雇傭主 氏 名 圖

記載注意

- 一 本證明書ハ從前ノ雇傭主ニ於テ作成シ就職決定ノ際本人ニ交付スルモノトス
- 二 本證明書ハ該當事項ノミ記載スルモノトス
- 三 本證明書中第二ノ證明事項ニ就テハ離職中ノ生活援護費ノ支給ヲ受ケタル場合ニノミ證明スルモノトス

0416

(限 内 部)

海軍公報 (部内限) 號外

0417

海軍公報 (部内限) 號外

0418

海軍公報（部内限）號外

三

0419

海軍公報（部内限）號外

四

0420